

東海地域びんリユース推進協議会設立要領

2014年10月14日

1. 設立趣旨

(びんのリユースの現状)

ガラスびんは飲料、酒類及び食品を始めとしてさまざまな用途で利用される品質保持性能に優れた容器であり、耐久性が高く再使用が可能な容器であることから容器包装廃棄物の排出抑制と温室効果ガス排出量の低減の観点からそのリユースの推進が期待されている。このびんは従来大部分がリユースされていたが、ライフスタイルの変化、流通構造の変化、商品の多品種化等を始めとする経済社会システムの変化の影響を受け、びんのリユース量は減少の一途をたどっている。

(びんのリユースは様々な主体が連携しないと成立しないシステム)

現状では、ビールびん、一升びん、牛乳びん等の既存のリユースシステムが弱体化しており、びんのリユースが存続しているのは業務用市場、宅配市場等のクローズドシステムに頼るところが大きい。

びんリユースシステムは、消費者、中身充填事業者、卸事業者、飲食店等びん飲料を提供する事業者、小売店、地方自治体、さらにびん商、回収容器供給者（通箱レンタル事業者）、ガラスびんメーカー等の様々な主体が協力・連携しないと成立・存続し得ない。このびんリユースシステムは現状のままでは崩壊しかねず、ひとたび崩壊するとその再生・復活には多大な時間と労力が必要となる。

(びんリユース拡大のための鍵)

これまでびんリユースの普及拡大に向けて様々な調査研究、実証実験等が行われてきたが、その結果からびんリユースの拡大のための鍵として見えてきたのは「地域単位のびんリユースシステムの構築」である。

具体的には、回収や洗びん、充填の設備等のコスト制約の中で、一定程度の広さをもった地域をベースとしてびんをリユースしていくシステムを構築し、点から線、線から面へ拡大していくことが有効である。

この取組を成功に導くためには、消費者、中身充填事業者、卸事業者、飲食店等びん飲料を提供する事業者、小売店、地方自治体、びん商、回収容器供給者（通箱レンタル事業者）、ガラスびんメーカー等の参加が得られる着眼点と発想に基づくものとなる必要がある。

2. 協議会の目的

東海地域（愛知県、三重県、岐阜県及び静岡県の一部をいう。以下同じ。）において「地域単位のびんリユースシステムの構築」を含めたびんリユースの推進を図り、びんリユースが地域の様々な課題の解消に貢献する方策を検討・実践することを目的とする。

3. 協議会が協議する事項

- (1) 東海地域の飲食店等におけるびんリユースシステムの構築に関する事項
- (2) びんリユースの普及に向けた情報発信や広報に関する事項
- (3) その他会長が必要と判断する事項

4. 協議会の構成

- (1) 協議会は、別紙1に掲げる構成員で構成する。
- (2) 必要に応じ、構成員以外の者をオブザーバーとして参加させることができる。
- (3) 構成員は、協議会が開催する会議等に出席できないとき、代理の者を指名して出席させることができる。

5. 協議会の運営

- (1) 協議会に、会長を置く。会長は、構成員の互選によってこれを定める。
- (2) 会長は、協議会を統括し、協議会の進行に当たる。
- (3) 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめその指名する構成員がその職務を代理する。
- (4) 協議会の事務局は、中部壇商連合会及び環境省中部地方環境事務所がこれを担う。
- (5) 実務的な検討を行うため、協議会にワーキンググループを置くことができる。
- (6) ワーキンググループのメンバーは、協議会に諮った上で、会長が指名する。

6. その他

この要領に定めるもののほか、その他必要な事項は、協議会に諮り定める。

附則

1. この要領は、平成26年10月14日から施行する。

東海地域びんリユース推進協議会 構成員名簿

(敬称略、順不同)

(平成 26 年 10 月 14 日現在)

組織名	所属等	氏名	備考
名古屋大学	大学院環境学研究科 特任講師	松野 正太郎	
中部壘商連合会	株式会社 安田商店 代表取締役	安田 一機	事務局長
	株式会社 安田商店	星原 匡貴	事務局
	株式会社 小島良太郎商店 取締役	小島 英一郎	事務局
	株式会社 中西 代表取締役	笠原 尚志	
中部リサイクル運動市民の会	代表理事	永田 秀和	
愛知県酒造組合	専務理事	田辺 皓	
びんリユース推進全国協議会	事務局長	小沢 一郎	
新日本流通株式会社	レンタル事業部 東日本営業 グループ 課長	井尻 欽一	
環境省中部地方環境事務所	廃棄物・リサイクル対策課 課長	小岩 真之	事務局
	廃棄物・リサイクル対策課 廃棄物対策等調査官	原 慎一郎	事務局

東海地域びんリユース推進協議会 オブザーバー名簿

(敬称略、順不同)

(平成 26 年 10 月 14 日現在)

組織名	所属等	氏名
愛知県	環境部資源循環推進課 一般廃棄物グループ 主任	國立 将光
名古屋市	環境局減量推進室 主査	伊藤 直起
	環境局減量推進室 主事	松島 春那